

コ	ス	臨床薬理学 (Clinical Pharmacology)	
学年・期・単位	第3学年・後期・1単位	科目担当責任者	李 昌一 (生体管理医学講座 薬理学分野・教授)
オフィスアワー	毎週月曜日16:30~18:00(第1研究棟3階歯科薬理学研究室)	メールアドレス	
一般目標 (GIO)	<p>「生体と薬物」・「歯科薬理学」において薬理作用に関する知識を学ぶが、必ずしも薬理作用を理解するだけでは実際の歯科薬物療法を行うことが可能であるとはいえない。従って、このコースでは実際の歯科臨床における薬物療法を行うための知識を習得する。そして、学習者は様々な患者で変化する薬物の動態、すなわち吸収、分布、代謝、排泄に関する特徴や、歯科臨床で重要な薬物の相互作用や重要な副作用を理解し、全身疾患などを有する患者に薬物を用いるときに注意すべき知識を習得する。</p>		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 臨床薬理学総論	薬物療法において重要な薬物動態学 (吸収・分布・代謝・排泄) に関する特徴を理解する。
2. 臨床薬理学各論	歯科臨床で重要な薬物の相互作用や重要な副作用を理解し、全身疾患などを有する患者に薬物を用いるときに注意すべき知識を習得する。
3. 特別講義	抗加齢 (アンチエイジング) 歯科医学における、薬物療法やサプリメント療法の特徴を理解する。
4. ふり返り総合学習	臨床薬理学の重要事項を判断する。
5. 試験評価	臨床薬理学総論におけるすべてのユニット内容を把握する。

教科書		
書名	著者名等	発行所
A 解る 歯科薬理学	李 昌一 他編著	学健書院

参考書		
書名	著者名等	発行所
臨床薬物動態学	加藤隆一	南江堂
臨床薬理学	日本臨床薬理学会	医学書院
日本歯科用医薬品 2007	日本歯科薬物療法学会	永末書店
配布資料	神奈川歯科大学 生体管理医学講座 薬理学分野	神奈川歯科大学 生体管理医学講座 薬理学分野

評価法 (EV)
<p>中間試験 [客観式および記述式] (47.5%)、後期本試験 [客観式および記述式] (47.5%)、ポートフォリオ (5%) による総合評価とし合計60%以上を合格とする。ただし、ポートフォリオ未提出者は再試験扱いとする。</p>

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	9/2	臨床薬理学総論	臨床薬理学とはいかなる学問かを説明できる。	A P1~3 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-1) 必15-Z-a ~ h 総 ( X )-9-A ~ S
2	9/9		実際の臨床薬物の動態における薬物の吸収、分布、代謝、排泄を説明できる。	A P8~13 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-3) 総 ( X )-9-C
3	9/16		治療的薬物モニタリング (TDM) を説明できる。	A P37 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-3) 総 ( X )-9-J
4	9/30		臨床で頻用される薬物の相互作用を説明できる。	A P20~24 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-2) 必4-E 必15-Z-g 総 ( X )-9-E
5	10/14		実際の臨床試験を含む薬物開発の現状を説明できる。	A 25~26 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-1) 総 ( X )-9-S
6	10/21		高齢者・妊婦・小児の薬物治療の留意点を説明できる。	A P17,18, P43 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	高橋俊介	F-4-2)、3) 必15-Z-i 総 ( X )-9-G
7	10/28	試験評価	1回から6回までのユニットの行動目標を説明できる。	中間試験を実施する。	薬理学分野教室員全員	
8	11/4	臨床薬理学各論	歯科臨床で頻用される抗菌薬による副作用、相互作用を説明できる。	A P215~235 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	高橋俊介	D-5-1)、2)、4) 必15-Z-g,h,i 総 ( X )-9-E,F,I,M 各IV-(IV)-2-I,J
9	11/11		歯科臨床で頻用される鎮痛消炎薬を説明できる。	A P189~194 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	吉野文彦	D-5-1)、2)、4) 必15-Z-g,h,i 総 ( X )-9-E,F,I,K,L 各IV-(IV)-2-I,J
10	11/18		中枢神経疾患患者における歯科薬物療法を説明できる。	A P111~129 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-1)、2)、4) 必15-Z-g,h,i 総 ( X )-9-D,I,J 各IV-(IV)-2-I,J
11	11/25		循環器系疾患患者における歯科薬物療法を説明できる。	A P131~142 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	高橋聡子	D-5-1)、2)、4) 必15-Z-g,h,i 総 ( X )-9-D,I,J 各IV-(IV)-2-I,J
12	12/2		代謝性疾患患者における歯科薬物療法を説明できる。	A P171 及び A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	高橋聡子	D-5-1)、2)、4) 必15-Z-g,h,i 総 ( X )-9-D,I,J 各IV-(IV)-2-I,J
13	12/9		抗加齢 (アンチエイジング) 歯科医学の基礎である酸化ストレスを説明できる。	A4版配布資料とコンピュータを使用したアニメーションにより、重要なポイントを解説する。	李 昌一	D-5-1)、2)、4) 必15-9-Z-c 総 ( X )-D
14	12/16	特別講義	抗加齢 (アンチエイジング) 歯科医学の実際とサプリメントの処方を説明できる。	外部講師により薬を取り巻く様々なトピックを解説する。	李 昌一 齊藤一郎 (招聘講師)	D-5-2) 必15-9-Z-a ~ i 各IV-(IV)-2-I,J
15	12/22 (調整期間) 5限目	合学 ふり 返り 総	1回から14回までの総復習	臨床薬理学におけるポートフォリオと配布資料を整理し凝縮させる。	李 昌一	